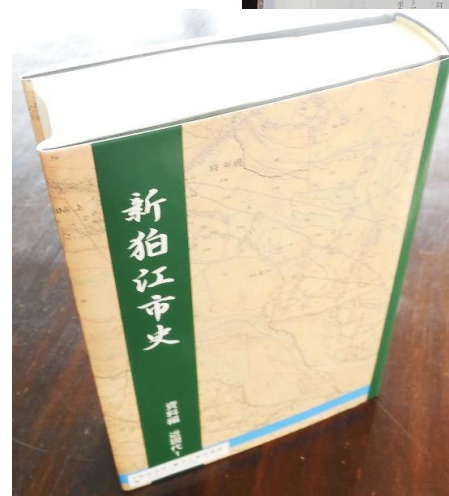
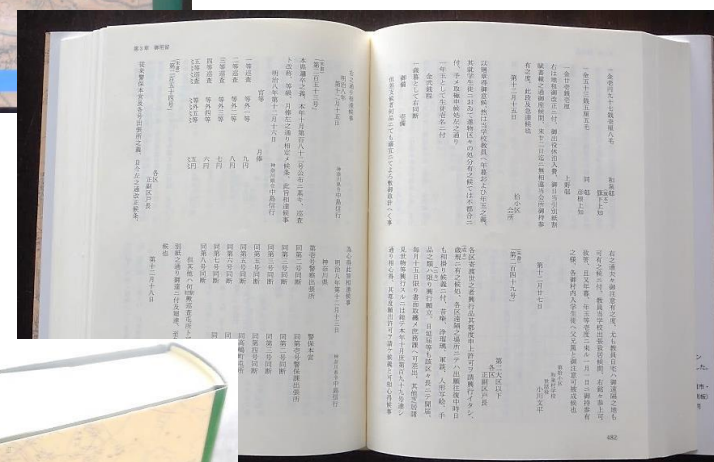
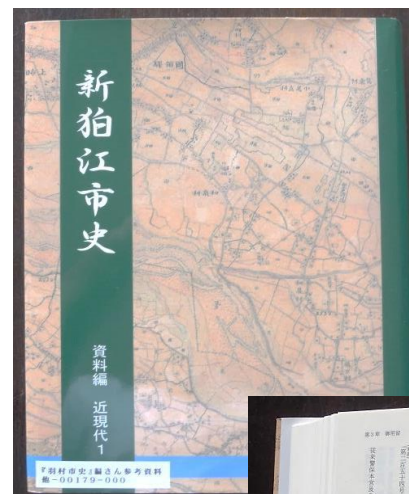


『羽村市史資料編』構成等参考資料

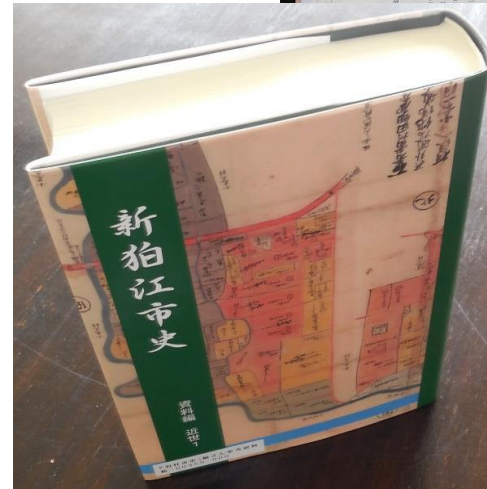
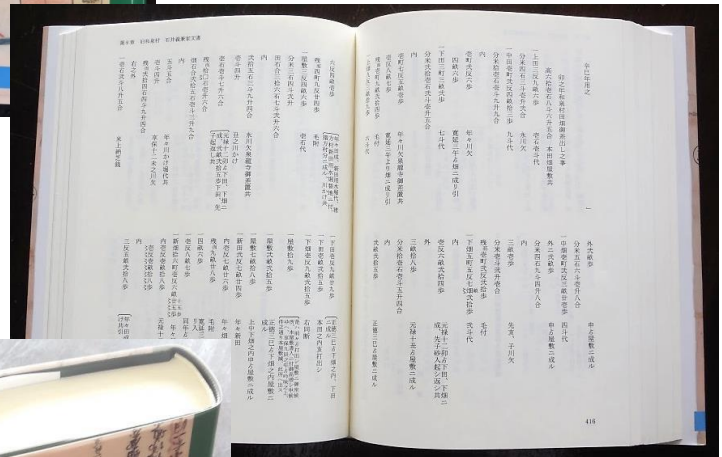
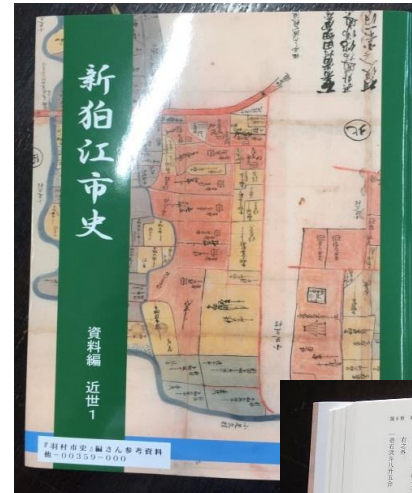
資料 5 - 3

タイトル	『新狛江市史 資料編 近現代1』
発行年月日	平成27年3月31日 狛江市
判型	A5判
製本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印刷	モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 500部
本文総ページ	856ページ
内容	明治初期における狛江地域の様相が記された地誌類、書上類、御用留、諸願伺届を収録
章立て	刊行によせて 凡例 目次 解説 第一章 皇国地誌草稿 第二章 取調書上書類 第三章 御用留 第四章 諸願伺届
頒布価格	3,000円



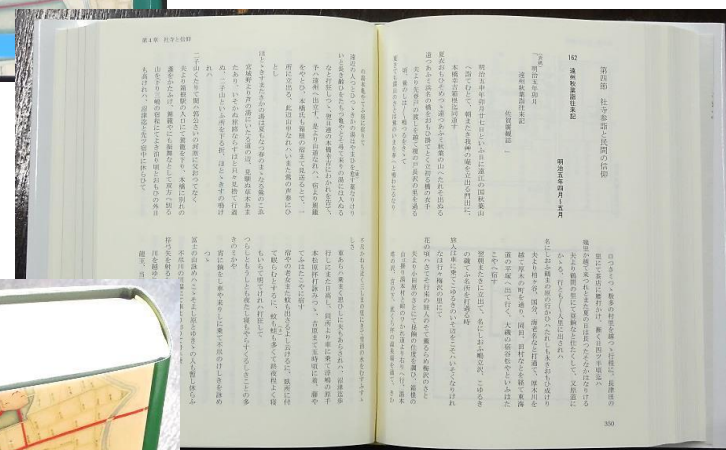
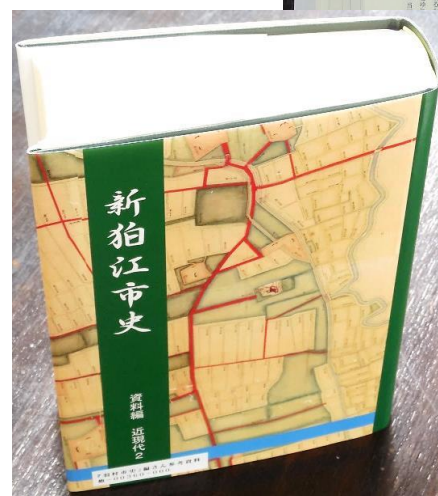
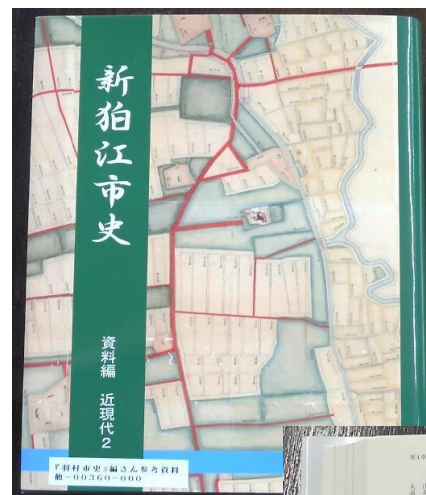
『羽村市史資料編』構成等参考資料

タイトル	『新狛江市史 資料編 近世1』
発行年月日	平成28年3月31日 狛江市
判型	A5判
製本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印刷	モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 500部
本文総ページ	753ページ
内容	狛江市域にかかわる江戸時代の諸家文書のうち、前回の市史編さんにおいて刊行した『狛江市史料集』に掲載されていない資料を収録
章立て	<p>刊行によせて 凡例 目次 解説</p> <p>第一章 旧小足立村 富永織之家文書 第二章 旧小足立村 富永俊之家文書 第三章 旧小足立村 富永春芳家文書 第四章 旧小足立村 栗山正美家文書 第五章 旧覚東村 高木光家文書 第六章 旧覚東村 鈴木茂男家文書 第七章 旧岩戸村 須田耕作家文書 第八章 旧駒井村 高橋弘家文書 第九章 旧和泉村 石井義兼家文書 第十章 旧和泉村 石井三雄家文書 第十一章 旧和泉村 大久保蕃家文書 第十二章 旧和泉村 谷田部英雄家文書 第十三章 旧和泉村 荒井正家文書 第十四章 富永春芳氏所蔵文書</p> <p>掲載史料所蔵者一覧・資料提供及び調査協力者 市史編さん関係者名簿 編集後記</p>
頒布価格	2,460円



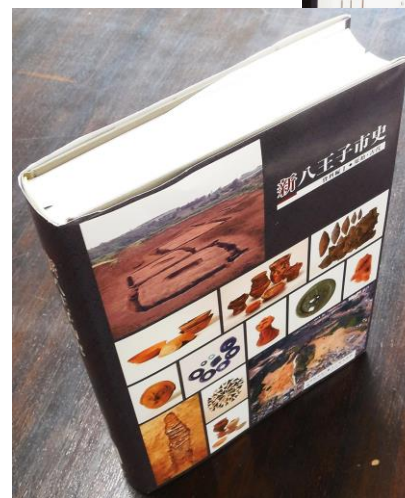
『羽村市史資料編』構成等参考資料

タイトル	『新狛江市史 資料編 近現代2』
発行年月日	平成28年3月31日 狛江市
判型	A5判
製本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印刷	モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 500部
本文総ページ	835ページ
内容	慶応4年（1868）から日露戦争までの狛江市域に関する史料を収録
章立て	<p>刊行によせて 凡例 目次 解説</p> <p>第一章 狛江村の誕生 第二章 土地と租税 第三章 地域と教育 第四章 社寺と信仰 第五章 地域社会の変化と村の集団 第六章 社会資本の整備 第七章 地域の産業 第八章 地域と戦争</p> <p>掲載史料所蔵者一覧・資料提供及び調査協力者 市史編さん関係者名簿 編集後記</p>
頒布価格	2,630円



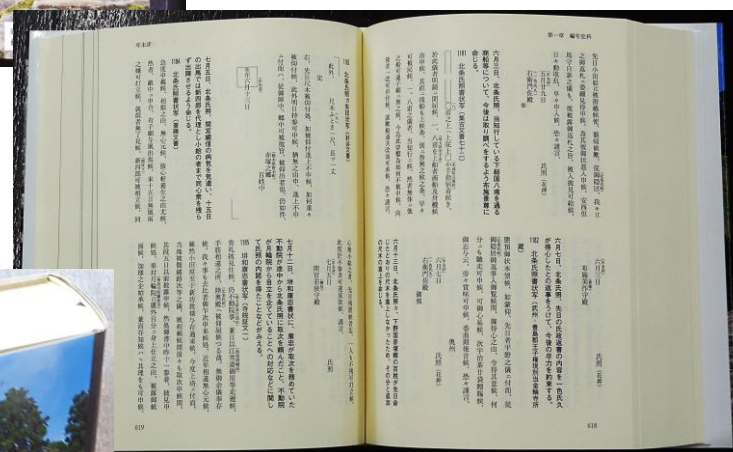
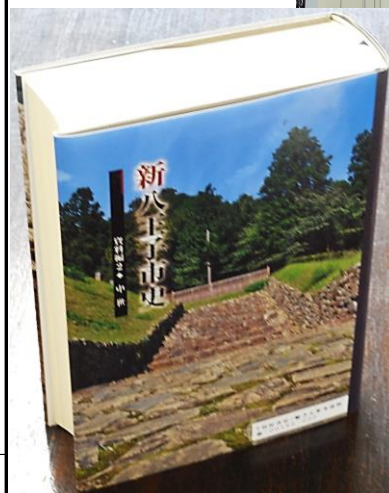
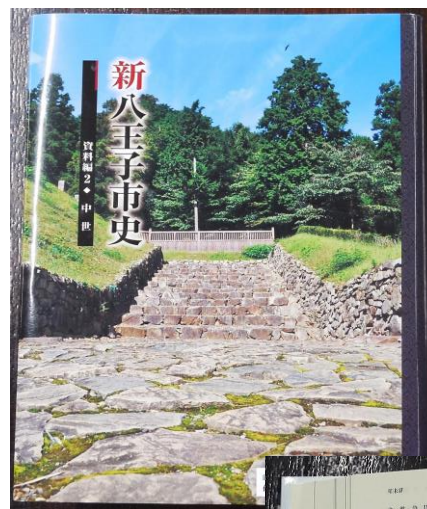
『羽村市史資料編』 構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編1 原始・古代』
発行年月日	平成25年3月29日 八王子市
判 型	A4判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	カラー（4色）印刷 横書き 1,500部
本文総ページ	702ページ
内 容	八王子市内で発掘された約1,000か所の遺跡の内、原始古代史を考察、叙述する際に必要不可欠な延べ166遺跡を収録
章立て	<p>刊行にあたって 監修のことば 凡例 遺跡紹介の見方 目次</p> <p>第1章 遺跡にみる八王子市域の原始・古代のあらまし</p> <p>第2章 谷地川・多摩川流域の遺跡群</p> <p>第3章 浅川・川口川流域の遺跡群</p> <p>第4章 湯殿川・山田川流域の遺跡群</p> <p>第5章 大栗川流域の遺跡群</p> <p>第6章 資料</p> <p>COLUMN 協力者・協力機関一覧 執筆分担一覧 市史編さん関係者一覧 あとがき</p> <p>付図 八王子市遺跡分布図 多摩ニュータウン周辺遺跡分布図</p>
頒布価格	5,000円



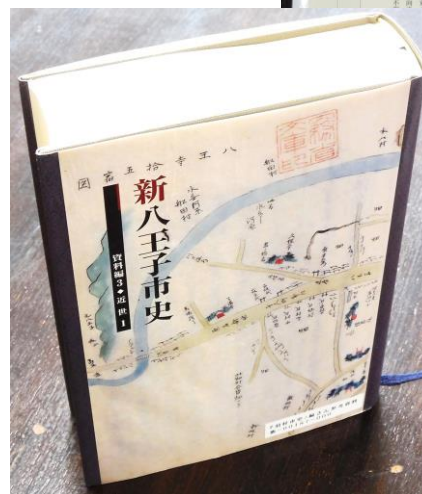
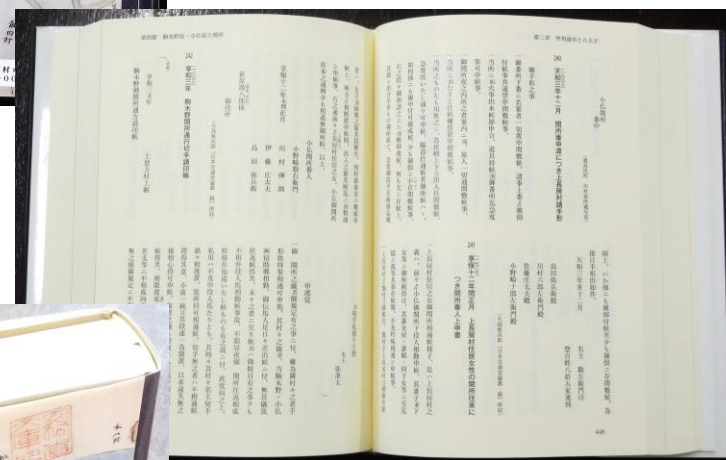
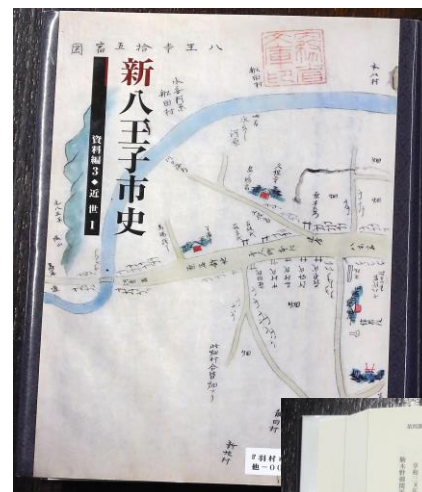
『羽村市史資料編』構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編2 中世』
発行年月日	平成26年3月31日 八王子市
判 型	A5判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷 1,500部
本文総ページ	1075ページ
内 容	現在の八王子市域の中世に関わる地名、人名、社寺名が登場する文献や金石文、人々の生活や活動の痕跡を示す遺跡・遺物などの資料を網羅的に収録
章立て	口絵 刊行にあたって 編集にあたって 凡例 総目次 細目次 第一章 編年史料 第二章 系図 第三章 聖教奥書 第四章 市内所在の中世文書 第五章 中世遺跡 第六章 石塔・金工品 掲載史料所蔵・出典等一覧 口絵・扉絵写真出典一覧 あとがき 資料提供者及び協力者・協力機関一覧 市史編集専門部会中世部会 市史編さん関係者一覧 付録 付図「中世主要遺跡・石塔分布図」 DVD「石塔・金工品データ集」
頒布価格	3,000円



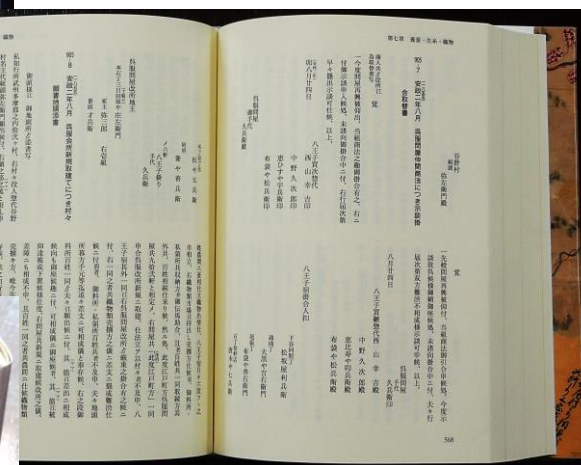
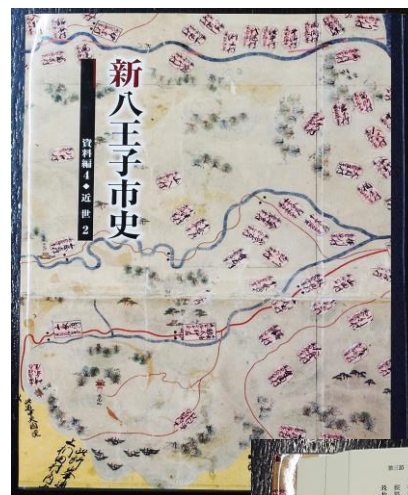
『羽村市史資料編』 構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編3 近世1』
発行年月日	平成25年3月29日 八王子市
判 型	A5判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷 1,500部
本文総ページ	990ページ
内 容	天正18年（1590）6月に北条氏の八王子城が落城し、同年8月に徳川氏の領地となって以降、江戸幕府が崩壊し明治維新政府の支配が及ぶまでの間のうち、「市町」「宿駅町」「代官と旗本の個々の支配の在り方」という視点からの資料について収録
章立て	口絵 刊行にあたって 編集にあたって 凡例 総目次 細目次 第一章 近世八王子の町と市 第二章 甲州道中と八王子 第三章 八王子を支配した領主 第四章 八王子の村々 口絵・扉絵写真出典一覧 あとがき 資料提供者及び協力者・協力機関一覧 市史編集専門部会近世部会 市史編さん関係者一覧
頒布価格	3,000円



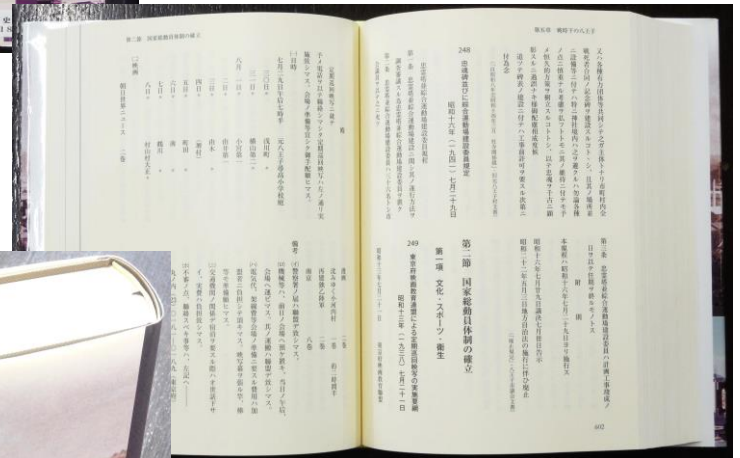
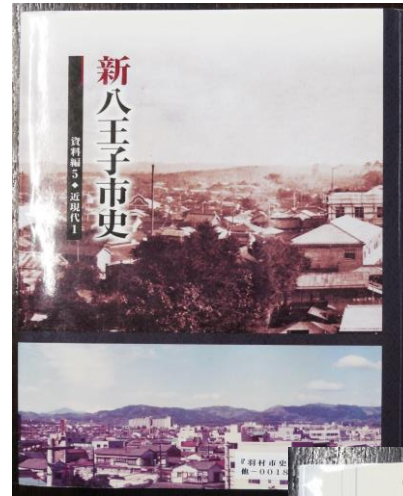
『羽村市史資料編』 構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編4 近世2』
発行年月日	平成27年3月31日 八王子市
判 型	A5判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷 1,500部
本文総ページ	1107ページ
内 容	天正18年（1590）6月に北条氏の八王子城が落城し、同年8月に徳川氏の領地となって以降、江戸幕府が崩壊し明治維新政府の支配が及ぶまでの間のうち、「千人同心」「生業」「八王子織物」「文化と宗教・寺社」「幕末から明治維新への転換期」という視点からの資料について収録
章立て	口絵 刊行にあたって 編集にあたって 凡例 総目次 細目次 第五章 八王子千人同心 第六章 さまざまな生業 第七章 養蚕・生糸・織物 第八章 寺社と文化 第九章 幕末維新と八王子 口絵・扉絵写真出典一覧 あとがき 資料提供者及び協力者・協力機関一覧 市史編集専門部会近世部会 市史編さん関係者一覧
頒布価格	3,000円



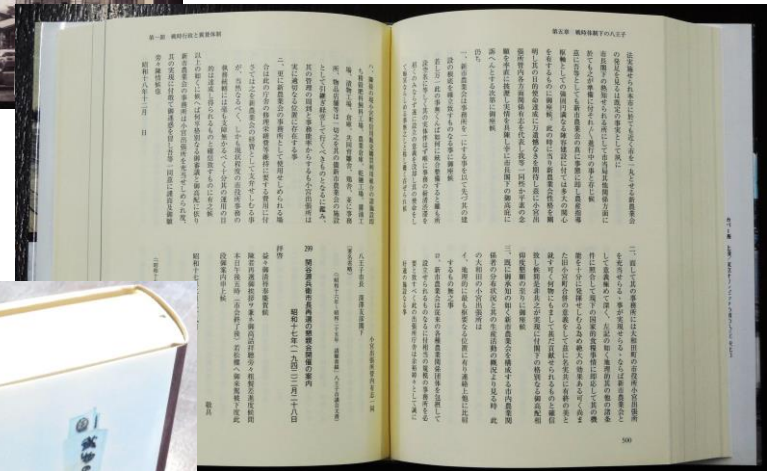
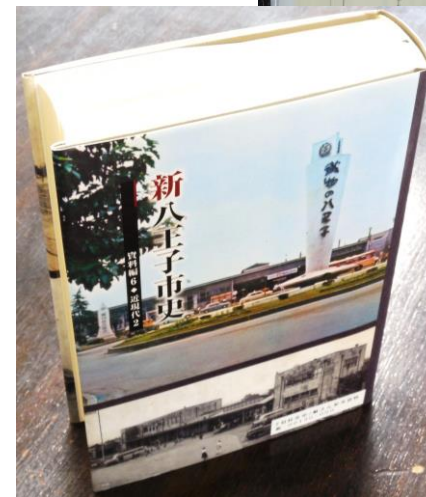
『羽村市史資料編』 構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編5 近現代1』
発行年月日	平成24年3月31日 八王子市
判 型	A5判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷 1,500部
本文総ページ	978ページ
内 容	明治7年（1874）から昭和40年（1965）までの、現在の八王子市域に関わる公文書を収録
章立て	口絵 刊行にあたって 監修のことば 凡例 総目次 細目次 編集の経過について 第一章 明治前期の八王子 第二章 明治中後期の八王子 第三章 大正期の八王子 第四章 昭和戦前期の八王子 第五章 戦時下の八王子 第六章 戦後復興期の八王子 第七章 昭和の大合併と八王子市の出発 口絵・扉絵写真出典一覧 あとがき 資料提供者及び協力者・協力機関一覧 市史編集専門部会近現代部会 市史編さん関係者一覧
頒布価格	3,000円



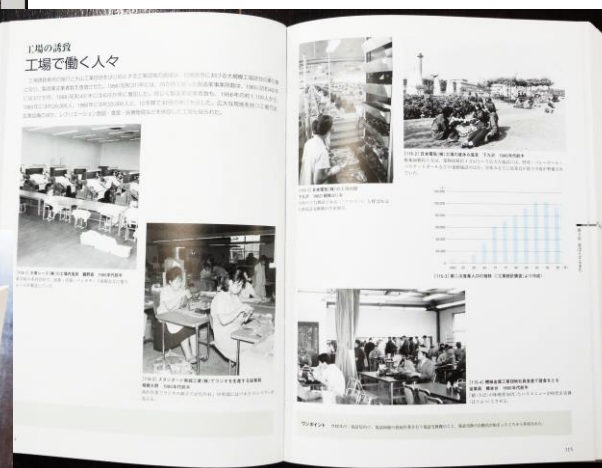
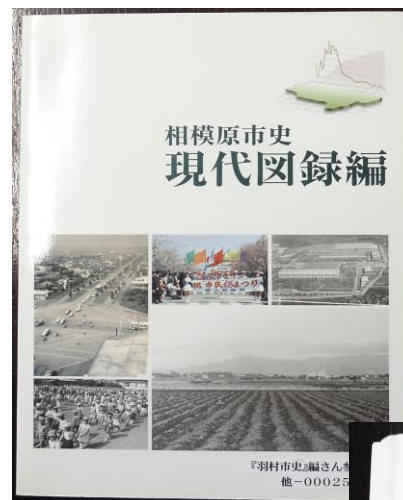
『羽村市史資料編』 構成等参考資料

タイトル	『新八王子市史 資料編6 近現代2』
発行年月日	平成26年3月31日 八王子市
判 型	A5判
製 本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印 刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷 1,500部
本文総ページ	975ページ
内 容	明治2年（1869）から平成15年（2003）までの、現在の八王子市域に関わる公文書及び私文書を収録
章立て	口絵 刊行にあたって 監修のことば 凡例 総目次 細目次 総説 第一章 明治前期の八王子 第二章 明治中後期の八王子 第三章 大正期の八王子 第四章 昭和戦前期の八王子 第五章 戦時体制下の八王子 第六章 戦後復興期の八王子 第七章 現代の八王子 口絵・扉絵写真出典一覧 あとがき 資料提供者及び協力者・協力機関一覧 市史編集専門部会近現代部会 市史編さん関係者一覧
頒布価格	3,000円



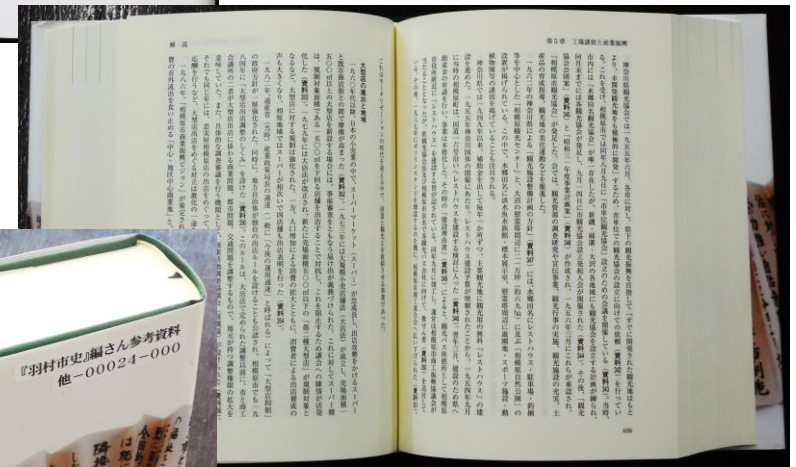
『羽村市史資料編』構成等参考資料

タイトル	『相模原市史 現代図録編』
発行年月日	平成16年11月20日 相模原市
判型	A4判
製本	糸かがり綴じ並製本（くるみ表紙（小口折り）・函なし）
印刷	カラー（4色）印刷 横書き
本文総ページ	296ページ
内容	相模原市域の、主に第二次世界大戦終結後に関する写真・図等の資料を収録
章立て	<p>口絵 刊行にあたって 本編の刊行について 目次 凡例</p> <p>第1部 地図で見るさがみはら 第2部 写真で見るさがみはら 第1章 台地のまち 第2章 基地のまち 第3章 変ぼうするまち 第4章 人口急増のまち 第5章 みんなのまち</p> <p>第3部 データで見るさがみはら 掲載写真・図版一覧 協力者一覧 参考文献一覧 市史編さん関係者名簿</p>
頒布価格	1,500円



『羽村市史資料編』構成等参考資料

タイトル	『相模原市史 現代資料編』
発行年月日	平成20年3月25日 相模原市
判型	A5判
製本	上製本（表紙カバー（カラー）付・函なし）
印刷	本文：モノクロ（墨1色）印刷 縦書き 口絵：カラー（4色）印刷
本文総ページ	1158ページ
内容	相模原市域（旧津久井郡四町を合併する以前の相模原市域）に関する昭和20年（1945）から現在までの文書資料548点を収録
章立て	<p>口絵 刊行にあたって 『現代資料編』の刊行にあたって 相模原の現代を「同時代史」としてどう描くか 凡例</p> <p>第一章 敗戦と占領 第二章 戦後改革と地域社会 第三章 相模川と畑地の開発 第四章 基地の街相模原 第五章 工場誘致と産業振興 第六章 都市計画と都市問題 第七章 市民の生活と文化 第八章 市長と行財政</p> <p>近代から現代の相模原市の行政区画と大字 参考・引用文献、解説執筆、掲載資料所蔵者・機関、 資料提供及び協力者・機関、編さん関係者 編集後記</p>
頒布価格	3,700円



近隣市目次建て参考資料

【近隣市近刊資料編の概要】

『新狛江市史 資料編 近現代 1』(平成 27 年 3 月 31 日 狛江市)

<体裁>

判型：A5 判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：856 ページ

印刷：モノクロ印刷 縦書き

<内容>

明治初期における狛江地域の様相が記された地誌類、書上類、御用留、諸願伺届を収録

<目次>

刊行によせて（狛江市長）

凡例

目次

解説（新井勝紘（専修大学 狛江市市史編さん委員会委員/狛江市市史編集専門委員会委員/
本編監修・校訂））

- ・はじめに
- ・国家的プロジェクト（「皇国地誌」編さんの経緯等）
- ・神奈川県地域の受け止め方
- ・「皇国地誌」の内容
- ・各村に残る書上
 - ①村況書上
 - ②反別地位書上
 - ③収穫取調書上 ④物産書上
- ・「御用留」から見えるもの
- ・発信者はだれか（御用留の発信者）
- ・神奈川県令中島信行の戸長への諭告書（御用留の中の一史料に関する解説）
- ・村は何を願い、何を届けたか（「諸願伺届」の内容）

第一章 皇国地誌草稿

第二章 取調書上書類

第一節 村況書上

第二節 反別地位書上

第三節 収穫取調書上

第四節 産物取調書上

第三章 御用留

第四章 諸願伺届

掲載史料所蔵者一覧・資料提供及び調査協力者

市史編さん関係者名簿

編集後記

『新狛江市史 資料編 近世 1』(平成 28 年 3 月 31 日 狛江市)

<体裁>

判型：A5 判 綴じ：上製本(表紙カバー付・函なし) 本文総ページ：753 ページ

印刷：モノクロ印刷 縦書き

<内容>

狛江市域にかかわる江戸時代の諸家文書のうち、前回の市史編さんにおいて刊行した『狛江市史料集』に掲載されていない資料を収録

<目次>

刊行によせて(狛江市長)

凡例

目次

解説(森 安彦(狛江市市史編さん委員会委員長/狛江市市史編集専門委員会委員長/本編監修・校訂))

第一章 旧小足立村 富永織之家文書

第一節 土地

第二節 租税

第三節 戸口

第四節 諸商売・金融

第五節 社寺と信仰

第六節 家

第二章 旧小足立村 富永俊之家文書

第一節 土地

第二節 諸商売・金融

第三章 旧小足立村 富永春芳家文書

第四章 旧小足立村 栗山正美家文書

第一節 支配

第二節 土地

第三節 租税

第四節 水利

第五節 交通・伝馬

第六節 諸商売・金融

第七節 社寺と信仰

第八節 家

第五章 旧覚東村 高木光家文書

第一節 支配

第二節 土地

第三節 租税

第四節 村況

第五節 村政

第六節 戸口

第七節 水利

第八節	交通・伝馬
第九節	社寺と信仰
第十節	家
第六章	旧覚東村 鈴木茂男家文書
第七章	旧岩戸村 須田耕作家文書
第一節	土地
第二節	租税
第三節	村況
第四節	水利
第五節	交通・伝馬
第六節	諸商売・金融
第七節	社寺と信仰
第八節	家
第八章	旧駒井村 高橋弘家文書
第九章	旧和泉村 石井義兼家文書
第一節	土地
第二節	戸口
第三節	水利
第四章	諸商売・金融
第五節	社寺と信仰
第十章	旧和泉村 石井三雄家文書
第一節	土地
第二節	村況
第三節	水利
第四節	諸商売・金融
第五節	社寺と信仰
第十一章	旧和泉村 大久保蕃家文書
第一節	支配
第二節	土地
第三節	租税
第四節	村政
第五節	戸口
第六節	水利
第七節	諸商売・金融
第八節	社寺と信仰
第十二章	旧和泉村 谷田部英雄家文書
第十三章	旧和泉村 荒井正家文書
第十四章	富永春芳氏所蔵文書
掲載史料所蔵者一覧・資料提供及び調査協力者	
市史編さん関係者名簿	
編集後記	

『新狛江市史 資料編 近現代2』（平成28年3月31日 狛江市）

<体裁>

判型：A5判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：835ページ

印刷：モノクロ印刷 縦書き

<内容>

慶応4年（1868）から日露戦争後までの狛江市域に関わる史料を収録

<目次>

刊行によせて（狛江市長）

凡例

目次

解説（新井勝紘（専修大学 狛江市市史編さん委員会委員/狛江市市史編集専門委員会委員/
本編監修・校訂））

第一章 狛江村の誕生

第一節 維新期の狛江の村々

第二節 北多摩郡の成立と戸長・村会

第三節 連合戸長役場の設置

第四節 狛江村の成立と村政の展開

第二章 土地と租税

第一節 和泉村旧地頭石谷氏の下屋敷地処分

第二節 明治初期の土地と租税

第三節 地租改正

第三章 地域と教育

第一節 小学校の誕生

第二節 狛江尋常高等小学校の開校

第四章 社寺と信仰

第一節 神仏分離と社寺の変容

第二節 社寺取調書上・明細帳

第三節 三嶋明神の合祀

第四節 社寺参詣と民間の信仰

第五節 祭りと芸能

第五章 地域社会の変化と村の集団

第一節 村内互助組織・頼母子

第二節 村の変化と政治意識の芽生え

第三節 村の文化

第四節 若者組・青年会

第五節 消防組・治安

第六節 健康と衛生

第六章 社会資本の整備

第一節 多摩川の治水

第二節 用水

- 第三節 多摩川の渡船
- 第四節 道路
- 第五節 鉄道
- 第六節 郵便
- 第七章 地域の産業
 - 第一節 農業
 - 第二節 養蚕業
 - 第三節 製茶業
 - 第四節 漁業
 - 第五節 醸造業
 - 第六節 水車営業
 - 第七節 諸商業・諸産業
- 第八章 地域と戦争
 - 第一節 徴兵と入営
 - 第二節 日清戦争
 - 第三節 義和団事件
 - 第四章 日露戦争
 - 第五節 戦争と村の社会
- 掲載史料所蔵者一覧・資料提供及び調査協力者
- 市史編さん関係者名簿
- 編集後記

『新八王子市史 資料編 1 原始・古代』（平成 25 年 3 月 29 日 八王子市）

<体裁>

判型：A4 判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：702 ページ

印刷：カラー印刷 横書き

<内容>

八王子市内で発掘された約 1,000 か所の遺跡の内、原始古代史を考察、叙述する際に必要不可欠な延べ 166 遺跡を収録

<目次>

刊行にあたって（八王子市長）

監修のことば（八王子市史編集専門部会 原始古代部会長）

凡例

遺跡紹介の見方

目次

第 1 章 遺跡にみる八王子市域の原始・古代のあらまし

I 時代区分と流域設定

1 時代区分について／2 流域設定／3 各流域の遺跡群

II 八王子市域の旧石器時代

1 時代と背景／2 ローム層の基本層序／3 八王子市域の石器群編年／

4 市域石器群の特徴－立地と機能－

III 八王子市域の縄文時代

1 時代と背景／2 縄文時代遺跡と集落跡／3 「環状集落跡」と「集落遺跡」／

4 突出する縄文中期の遺跡数／5 中期「集落遺跡」の検討方法／

6 「新地平編年」の導入／7 遺跡立地イメージの再考／8 谷部・低湿地の遺跡

IV 八王子市域の弥生時代

1 時代と背景／2 遺跡の分布と竪穴住居の変遷／3 遺跡群の様相／

4 市域の弥生時代の特徴

V 八王子市域の古墳時代

1 時代と背景／2 集落の様相／3 古墳の様相

VI 八王子市域の奈良・平安時代

1 時代と背景／2 どんな遺跡がどこにあるか／3 集落と生産基盤／4 手工業生産／

5 墓と仏教関連遺跡／6 出土文字資料／7 古代から中世へ

第 2 章 谷地川・多摩川流域の遺跡群

旧石器時代／縄文時代／弥生時代／古墳時代／奈良・平安時代

第 3 章 浅川・川口川流域の遺跡群

縄文時代／弥生時代／古墳時代／奈良・平安時代

第 4 章 湯殿川・山田川流域の遺跡群

旧石器時代／縄文時代／弥生時代／古墳時代／奈良・平安時代

第 5 章 大栗川流域の遺跡群

旧石器時代／縄文時代／弥生時代／古墳時代／奈良・平安時代

第6章 資料

I 出土文字資料集成

1 土器・木製品／2 瓦類／3 木簡／4 焼印／5 経典／6 和鏡

II 参考文献一覧

III 写真・図版一覧

IV 八王子市遺跡一覧

V 紹介遺跡 50 音順一覧

VI 保存公開遺跡の案内

COLUMN

1 遺跡とは①－過去の人々の営みの痕跡－

2 遺跡とは②－残された資料から読み取る－

3 遺跡とは③－残らなかったものを考える－

4 石器の種類と機能

5 関東ローム層と石器

6 土器と陶磁器

7 年代と地域によって変わる土器のかたち

協力者・協力機関一覧

執筆分担一覧

市史編さん関係者一覧

あとがき

付図 八王子市遺跡分布図（縮尺：30000 分の 1 市全域）

多摩ニュータウン周辺遺跡分布図（縮尺：12500 分の 1 市東部地域および周辺拡大図）

『新八王子市史 資料編2 中世』（平成26年3月31日 八王子市）

<体裁>

判型：A5判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：1075ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

現在の八王子市域の中世に関わる地名、人名、社寺名が登場する文献や金石文、人々の生活や活動の痕跡を示す遺跡・遺物などの資料を網羅的に収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（八王子市長）

編集にあたって（八王子市史編集専門部会 中世部会長）

凡例

総目次

細目次

第一章 編年史料

（十二世紀）

（十三世紀）

（十四世紀）

（十五世紀）

（十六世紀）

（年未詳・年月未詳・年月日未詳）

第二章 系図

1 小川系図

2 西党系図

3 小野氏系図 横山

4 長井系図

5 天野系図

6 木曾大石系図

7 北条氏系図

第三章 聖教奥書

聖教概説

名古屋市宝生院真福寺聖教

愛知県稲沢市性海寺聖教

高尾町高尾山薬王院聖教

宇津木町龍光寺聖教

埼玉県越生町報恩時聖教

元八王子町宗関寺聖教

普濟寺版経刻記

日野市大昌寺聖教

第四章 市内所在の中世文書

小比企町磯沼家文書
上恩方町井出家文書
追分町大野家文書
小比企町小坂家文書
台町信松院文書
八王子市郷土資料館所蔵広瀬文書
八王子市郷土資料館所蔵小松家文書
西寺方町宝生寺文書
元本郷町渡辺家文書
上恩方町渡辺家文書

第五章 中世遺跡

中世遺跡の概要

- (A 谷地川・多摩川流域)
- (B 浅川・川口川流域)
- (C 湯殿川・山田川流域)
- (D 大栗川流域)

再録 諏訪神社境内発見の経筒

第六章 石塔・金工品

石塔（板碑・五輪塔・宝篋印塔）の概要

板碑・緑泥片岩製品

板碑銘文一覧

五輪塔・宝篋印塔

五輪塔・宝篋印塔銘文一覧

金工品（懸仏・鰐口）

掲載史料所蔵・出典等一覧

口絵・扉絵写真出典一覧

あとがき

資料提供者及び協力者・協力機関一覧

市史編集専門部会中世部会

市史編さん関係者一覧

付録 付図「中世主要遺跡・石塔分布図」

DVD「石塔・金工品データ集」

『新八王子市史 資料編3 近世1』（平成25年3月29日 八王子市）

<体裁>

判型：A5判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：990ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

天正18年（1590）6月に北条氏の八王子城が落城し、同年8月に徳川氏の領地となって以降、江戸幕府が崩壊し明治維新政府の支配が及ぶまでの間のうち、「市町」「宿駅町」「代官と旗本の個々の支配の在り方」という視点からの資料について収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（八王子市長）

編集にあたって（八王子市史編集専門部会 近世部会長）

凡例

総目次

細目次

第一章 近世八王子の町と市

解説

第一節 八王子町の成立と構造

第二節 市のしくみと市をめぐる争論

第三節 町の住民と生業

第四節 天保の飢饉と災害・事件

第五節 町機能維持施設

第六節 町の寺社と祭礼・法要

第二章 甲州道中と八王子

解説

第一節 八王子宿のしくみ

第二節 旅籠屋と食売女

第三節 助郷＝宿駅を支える村々

第四節 駒木野宿・小仏宿と関所

第三章 八王子を支配した領主

解説

第一節 領主の特徴

第二節 天正検地

第三節 年貢諸役の徴収

第四節 年貢諸役をめぐる争論

第五節 幕府広域支配と改革組合村

第六節 御林山

第七節 代官が支配する村

第八節 旗本領主を支える村

第四章 八王子の村々

解説

第一節 村のすがたとしくみ

第二節 村のくらし

第三節 村の変化

第四節 村落秩序の動揺－争論・騒動の増加－

第五節 村と村の争い・結合

第六節 自然との闘い

第七節 凶作・飢饉との闘い

第八節 生活の窮乏と救済

口絵・扉絵写真出典一覧

あとがき

資料提供者及び協力者・協力機関一覧

市史編集専門部会近世部会

市史編さん関係者一覧

『新八王子市史 資料編 4 近世 2』(平成 27 年 3 月 31 日 八王子市)

<体裁>

判型：A5 判 綴じ：上製本(表紙カバー付・函なし) 本文総ページ：1107 ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

天正 18 年(1590)6 月に北条氏の八王子城が落城し、同年 8 月に徳川氏の領地となって以降、江戸幕府が崩壊し明治維新政府の支配が及ぶまでの間のうち、「千人同心」「生業」「八王子織物」「文化と宗教・寺社」「幕末から明治維新への転換期」という視点からの資料について収録

<目次>

口絵

刊行にあたって(八王子市長)

編集にあたって(八王子市史編集専門部会 近世部会長)

凡例

総目次

細目次

第五章 八王子千人同心

解説

第一節 千人組の組織と職務

第二節 千人頭・同心の身分と格式

第三節 千人組の公務

第四節 切米・扶持米

第五節 村のなかの千人同心

第六章 さまざまな生業

解説

第一節 農業

第二節 農間余業の展開

第三節 林業・山稼ぎ

第四節 鮎漁

第五節 酒造

第六節 金融

第七節 駄賃稼ぎ

第八節 鋳物師

第九節 秤

第十節 製蠟・水車稼ぎ他

第七章 養蚕・生糸・織物

解説

第一節 養蚕

第二節 生糸

第三節 織物

第四節 紺屋

第五節 木綿

第八章 寺社と文化

解説

第一節 寺院と村社会

第二節 高尾山薬王院と地域社会

第三節 寺院の由緒と法要

第四節 神社と村社会

第五節 村人の信仰の諸相

第六節 村の娯楽と年中行事

第七節 村の教育と文芸・武芸

第八節 学問の広がり

第九節 医学・蘭学

第九章 幕末維新と八王子

解説

第一節 開国・開港

第二節 開国・政争と負担の増大

第三節 幕末期の知行主と村

第四節 治安の悪化と対策

第五節 兵賦・兵賦金

第六節 農兵

第七節 幕末八王子の世相・社会状況

第八節 米価と窮民対策

第九節 草奔の活動

第十節 慶応三年勘定所在方掛八王子陣屋設置問題

第十一節 壺伊勢事件

第十二節 幕末維新期の千人同心

第十三節 明治維新

口絵・扉絵写真出典一覧

あとがき

資料提供者及び協力者・協力機関一覧

市史編集専門部会近世部会

市史編さん関係者一覧

『新八王子市史 資料編5 近現代1』（平成24年3月31日 八王子市）

<体裁>

判型：A5判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：978ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

明治7年（1874）から昭和40年（1965）までの、現在の八王子市域に関わる公文書を収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（八王子市長）

監修のことば（八王子市史編集専門部会 近現代部会長）

凡例

総目次

細目次

編集の経過について

第一章 明治前期の八王子

解説

第一節 明治前期の村運営

第二節 明治前期の村社会

第三節 明治前期の教育

第二章 明治中後期の八王子

解説

I 明治中期の八王子町

第一節 明治中期の町政

第二節 明治中期の社会

第三節 明治中期の教育

II 明治後期の八王子町

第一節 明治後期の町政

第二節 明治後期の社会

第三節 明治後期の教育

第四節 日露戦争と町の社会

III 明治中期の村

第一節 町村制下の村政

第二節 明治中後期の社会

第三節 明治中期の教育

第四節 日清戦争下の村

IV 明治後期の村

第一節 明治後期の村政・地方改良運動の展開

第二節 明治後期の社会

第三節 明治後期の教育・社会団体

第四節 日露戦争と村の社会

第五節 国家と地方社会

第三章 大正期の八王子

解説

I 大正期の八王子町・市

第一節 大正期の町政・市政

第二節 関東大震災と八王子

第三節 大正期の教育

II 大正期の村

第一節 大正期の村政

第二節 大正期の社会

第三節 大正期の教育・社会教育

第四節 第一次世界大戦前後の地方社会

第四章 昭和戦前期の八王子

解説

I 昭和戦前期の八王子市

第一節 昭和戦前期の市政

第二節 昭和戦前期の社会

第三節 昭和戦前期の教育

II 昭和戦前期の町村

第一節 「昭和」のはじまり

第二節 昭和戦前期の町村政

第三節 昭和戦前期の社会 1～社会問題と諸団体

第四節 昭和戦前期の社会 2～経済不況と村々

第五節 昭和初期の教育

第六節 満州事変と地域社会

第五章 戦時下の八王子

解説

第一節 日中戦争の開始

第二節 国家総動員体制の確立

第三節 防空体制の整備

第四節 産業・労働の転換と一九四〇年体制の形成

第五節 日米開戦と市民

第六節 戦争末期の状況

第六章 戦後復興期の八王子

解説

第一節 敗戦直後の状況

第二節 戦後改革の開始と展開

第三節 復興政策と戦後生活の状況

第四節 市政の展開と占領政策の終了

第七章 昭和の大合併と八王子市の出発

解説

第一節 南多摩郡「六か村」との合併

第二節 南多摩郡浅川村との合併

第三節 南多摩郡由木村との合併

第四節 神奈川県相模湖町との合併協議

口絵・扉絵写真出典一覧

あとがき

資料提供者及び協力者・協力機関一覧

市史編集専門部会近現代部会

市史編さん関係者一覧

『新八王子市史 資料編6 近現代2』（平成26年3月31日 八王子市）

<体裁>

判型：A5判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：975ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

明治2年（1869）から平成15年（2003）までの、現在の八王子市域に関わる公文書及び私文書を収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（八王子市長）

監修のことば（八王子市史編集専門部会 近現代部会長）

凡例

総目次

細目次

総説

第一章 明治前期の八王子

解説

第一節 「維新」と「ご一新」

第二節 文明化と地域

第三節 国家と地域社会

第二章 明治中後期の八王子

解説

第一節 郡と町村の政治・行政

第二節 商業都市八王子と織物業

第三節 社会・生活と軍事

第四節 交通網の広がり と都市インフラの整備

第三章 大正期の八王子

解説

第一節 市制施行と郡村

第二節 八王子織物の工業化と村々

第三節 青年・婦人の活動と諸団体の結成

第四節 文化・娯楽と社会の状況

第四章 昭和戦前期の八王子

解説

第一節 普通選挙の実施と無産運動

第二節 恐慌下の八王子と村々

第三節 大八王子計画と武蔵陵墓地多摩陵

第四節 青年・婦人の活動と市民・村民生活の諸相

第五章 戦時体制下の八王子

解説

- 第一章 戦時行政と翼賛体制
- 第二章 国家総動員と銃後の生活
- 第三章 学校教育の再編
- 第四章 戦時下の各種団体と文化運動
- 第五節 出征・空襲・帰還・慰霊
- 第六章 戦後復興期の八王子
- 解説
- 第一章 敗戦前後の景観
- 第二章 戦後改革と地域社会
- 第三章 新しい教育の芽生え
- 第四章 地域文化運動の高まり
- 第五章 経済復興と生活基盤の整備
- 第七章 現代の八王子
- 解説
- 第一節 拡大する市域
- 第二節 市政の動向
- 第三節 産業経済の変容
- 第四節 地域社会の変容
- 第五節 教育の動向
- 第六節 社会・文化運動
- 口絵・扉絵写真出典一覧
- あとがき
- 資料提供者及び協力者・協力機関一覧
- 市史編集専門部会近現代部会
- 市史編さん関係者一覧

『相模原市史 現代図録編』(平成16年11月20日 相模原市総務部総務課市史編さん室)

<体裁>

判型：A4判 綴じ：無線綴じ並製本（くるみ表紙・函なし） 本文総ページ：296ページ

印刷：カラー印刷 横書き

<内容>

相模原市域の、主に第二次世界大戦終結後に関する写真・図等の資料を収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（相模原市長）

本編の刊行について（相模原市市史編集委員会委員長）

目次

凡例

第1部 地図で見るさがみはら

グラフィック戦後年表

相模原台地の生い立ち

まちの変ぼう

コラム・広報スクラップ①

第2部 写真で見るさがみはら

第1章 台地のまち

台地の面影

台地の開拓

川の風景

コラム・広報スクラップ②

第2章 基地のまち

軍都計画と敗戦後の相模原

米軍基地と相模原

基地返還運動と跡地利用

コラム・広報スクラップ③

第3章 変ぼうするまち

農業の変化

工場の誘致

商業の変化

公共交通の発達

コラム・広報スクラップ④

第4章 人口急増のまち

人口急増と都市

都市基盤の整備

市民と行政

コラム・広報スクラップ⑤

第5章 みんなのまち

戦後のくらしと生活革新

団地住民のくらし

市民の学習・文化活動

世代を超えて

コラム・広報スクラップ⑥

第3部 データで見るさがみはら

1 統計

2 年表

掲載写真・図版一覧

協力者一覧

参考文献一覧

市史編さん関係者名簿

『相模原市史 現代資料編』（平成 20 年 3 月 25 日 相模原市（市史編さん室））

<体裁>

判型：A5 判 綴じ：上製本（表紙カバー付・函なし） 本文総ページ：1158 ページ

印刷：本文モノクロ印刷 口絵写真カラー印刷 縦書き

<内容>

相模原市域（旧津久井郡四町を合併する以前の相模原市域）に関する昭和 20 年（1945）から現在までの文書資料 548 点を収録

<目次>

口絵

刊行にあたって（相模原市長）

『現代資料編』の刊行にあたって（相模原市市史編集委員会委員長）

相模原の現代を「同時代史」としてどう描くか（相模原市市史編さん委員会近現代部会長）

凡例

第一章 敗戦と占領

第一節 敗戦と連合軍の進駐

第二節 占領軍対策と敗戦処理

第三節 接収と賠償

第四節 軍政活動と対諜報活動

第五節 帰還と慰霊

第二章 戦後改革と地域社会

第一節 政治と行政の民主化

第二節 農地改革

第三節 教育制度改革

第四節 社会の民主化

第五節 座間分離問題

第六節 市制施行

第三章 相模川と畑地の開発

第一節 食糧増産と開拓

第二節 農協と農村生活

第三節 相模川の開発事業

第四節 相模原畑地灌漑事業

第五節 相模川の砂利採取

第六節 都市化の中の近郊農業

第四章 基地の街相模原

第一節 相模原のアメリカ軍

第二節 基地の返還・跡地利用問題

第三節 基地の労働問題

第四節 基地と市民

第五章 工場誘致と産業振興

第一節 首都圏整備と市街地開発

- 第二節 工場誘致と工業団地
- 第三節 工場と労働問題
- 第四節 公害問題から環境問題へ
- 第五節 観光の振興と流通
- 第六節 大型店の進出と地域
- 第六章 都市計画と都市問題
 - 第一節 土地区画整理事業
 - 第二節 生活関連施設の整備
 - 第三節 団地の建設と住民
 - 第四節 交通網の整備と交通問題
 - 第五節 中心商業地の形成と周辺地域の変貌
 - 第六節 人口急増と社会問題
- 第七章 市民の生活と文化
 - 第一節 学校建設と学校教育
 - 第二節 社会教育の充実
 - 第三節 医療と保健衛生
 - 第四節 コミュニティの変貌
- 第八章 市長と行財政
 - 第一節 市制施行と清水睦・小林與次右エ門
 - 第二節 人口急増と山口・河津両市長
 - 第三節 都市のインフラ整備と館盛市政
 - 第四節 小川市長と民生の時代
- 近代から現代の相模原市の行政区画と大字
- 参考・引用文献、解説執筆、掲載資料所蔵者・機関、資料提供及び協力者・機関、編さん関係者
- 編集後記